

琵琶詩吟名匠録

- 鶴派琵琶史会本部 会主 鶴田 錦史 136 東京都江東区龜戸三ノ丸ノ元 電話(03)六四三三二番
- 錦心流琵琶派宗家 輝水会本部 113 東京都文京区本郷三ノ丸ノ三 電話(03)七五七四番
- 錦心流琵琶派 輝水会山梨縣支部 支部長 志田 錦禪 400 甲府市相生町二丁目四ノ三 電話(35)三二二二番
- 副支部長 長谷川 錦侯 405 山梨市小原西 電話(055)一〇一〇番
- 幹事長 近藤 錦秋 400 甲府市朝日三丁目五十一番 電話(22)八五五七番
- 輝水会北米支部 支部長 福手 錦稜 國風流詩吟師範(国慶) 羅府市サマーセット通(天)七
- 薩摩琵琶 齊曲会 164 東京都中野区中野三ノ宮ノ六 電話(03)八九二二二番
- 吟詠 吟舞 125 東京都葛飾区青戸五丁目一 電話(03)五七五番
- 菊水流本部 125 東京都葛飾区青戸五丁目一 電話(03)五七五番
- 大館派琵琶洲楓会本部 家元 大館 洲楓 150 東京都渋谷区渋谷四丁目六ノ二 電話(03)四〇九一〇番
- 錦心流大館派教授 前田 洲月 166 東京都杉並区成田東三ノ丁ノ二 電話(03)二三三四番
- 錦心流大館派洲城会 会長 野地 洲城 250 小田原市寿町四ノ三ノ七 電話(056)三三〇二番
- 琵琶、詩吟教授 誠洲会 桑名 洲聖 108 東京都港区白金ノ二ノ二 電話(03)四三六一七番
- 大館派琵琶、詩吟 大館派琵琶、詩吟 359 埼玉県所沢市日吉町七ノ三 電話(04)三三三二番
- 大館派琵琶、詩吟 稲垣 洲玲 154 東京都世田谷区梅丘一ノ一六 電話(03)四四七五番
- 錦心流大館派琵琶 松崎 洲陵 133 東京都江戸川区東小岩一ノ三ノ三 電話(03)五五五六番
- 大館派琵琶、詩吟 洲鳳会 山田 洲鳳 160 東京都新宿区新宿一ノ二八 電話(03)七三六六七番
- 錦心流大館派琵琶 彼ノ矢 洲友 150 東京都渋谷区本町五ノ一〇ノ二 電話(03)三五五三番
- 琵琶、錦古流詩吟 古水 針谷 錦古 370-12 高崎市岩鼻町二四七 電話(027)四〇〇六番
- 日本琵琶楽協会 事務所 105 東京都港区西新橋一丁目一ノ七 電話(03)三七七八九番
- 薩摩正 絃 会 事務所 105 東京都港区西新橋一丁目一ノ七 電話(03)三七七八九番
- 薩摩正派城流琵琶 城山会本部 105 東京都港区芝公園一ノ一八 電話(03)四〇〇七番
- 岳英 伊藤 長四郎 145 東京都大田区久が原一ノ七 電話(03)三三八二番
- 正派岳城流琵琶 城山会北海道支部 060 札幌市南九条西三ノ一〇 電話(011)二五四六番
- 薩摩琵琶錦水会本部 吉水 錦翁 153 東京都目黒区中野三ノ二 電話(03)六九三六番
- 薩摩琵琶正絃会 理事長 辻 靖剛 自宅 185 国分寺市東元町一ノ七 事務所 港区西新橋一ノ一ノ七
- 前田 秋声 141 東京都品川区西五反田四ノ八ノ三 電話(03)八三三三番
- 蘇川流琵琶本部 田邊 錦波 220 横浜市西区西戸部三ノ二 電話(045)二四九四番
- 薩摩琵琶、正絃会 鶴城会 岡尾 鶴城 420 静岡市田町一丁目三三三
- 錦心流琵琶教授 本静水会 松田 静水 105 東京都大田区南千束三ノ七ノ三 電話(03)七〇七〇番
- 錦心流琵琶教授 本静水会 廣瀬 綴水 573 大阪府枚方市上島東町四ノ四 電話(072)三三〇三番
- 錦心流琵琶 島田 春水 141 東京都品川区小山六丁目一八番 電話(03)九六一八番
- 錦心流琵琶、澄水会 会長 友吉 澄水 111 東京都台東区浅草二丁目一ノ六 電話(03)四二五二番
- 一水会埼玉支部長 南水 111 川口市朝日町二ノ八八八 電話(048)二二八三番
- 錦心流琵琶会 会主 三浦 蓮水 662 西宮市羽衣町七ノ三四 電話(078)三三三番
- 錦心流琵琶、尾州葵会 会長 稲葉 葵水 466 名古屋市昭和区西町二ノ七 電話(052)四四四番
- 国想 高橋 肆水 233 横浜市南区大岡町八三六 電話(045)四六八一番
- 鎌倉琵琶 春山会 曾我 龍城 248 鎌倉市長谷二ノ二八 電話(047)九〇二五番
- 薩摩琵琶 古家 絃風 124 東京都葛飾区立石一ノ二 電話(03)五七三九番
- 錦心流琵琶速水会 会長 山口 速水 116 東京都品川区西目黒三ノ一ノ二 電話(03)九一九三番
- 錦心流一水会中央支部 幹事長 戸谷 曙水 110 東京都台東区下谷三ノ八ノ九 電話(03)三二二一五番
- 日本琵琶振興会本部 錦川 鈴木 密水 343 埼玉県越谷市東方三ノ三九 電話(048)二四一三番
- 玄象会 113 東京都文京区西片町二ノ二 電話(03)一五五一番
- 吟詠教授、吟松会 会長 中村 松聲 430 浜松市東区谷町三七一〇 電話(053)七六六〇番
- 錦心流琵琶速水会 会長 山田 幻水 237 横須賀市船越町一ノ五〇 電話(046)三六七六番
- 錦心流琵琶教授 鉦水会 平野 鉦水 249 逗子市栢山三丁目一ノ三 電話(046)七八七六番
- 北陸琵琶同好会本部 会長 田中 歴水 930 富山市太田口通一丁目六 電話(076)三三三三番
- 錦心流琵琶 詩吟教授 算水会 田中 篁水 920 金沢市天神町二丁目六ノ三 電話(076)三三三三番
- 錦心流琵琶 愛吟会 山田 幻水 237 横須賀市船越町一ノ五〇 電話(046)三六七六番
- 錦心流琵琶教授 鉦水会 平野 鉦水 249 逗子市栢山三丁目一ノ三 電話(046)七八七六番
- 吉野 洲水 916 福井県鯖江市本町二丁目 電話(075)〇〇四四番

昭和四十五年十一月一日発行



琵琶特集 十一月号

山本旭城師五十年の美り 林田旭華師旭城襲名披露

筑前琵琶名流演奏大会

十一月一日十一時 彦根市民会館で



(山本旭城師)

(林田旭華師)

我が国に海外文化の交流を導入した大先覚、徳川幕府の井伊大老の居城彦根は、滋賀県文化の中心地で、茲に我が伝統精神情操芸術の華も添えて、今や多くの会員を要し、滋賀県文化の双壁の感をなしている。之を以て山本師の崇高な人格と徳望の至す処で、現代芸能界の第一人者と仰がれる所以である。師は今回の五十年を記念し、芸名旭城を高弟林田旭華さんに譲り後見役として指導されるという。林田さんは恩師のこの恩情に感激し、今後一層至誠をかたむけて、斯道の普及向上に邁進し、文化国家の指導員の重責を果されることとなられた。その披露の爲、彦根市長、彦根教育委員長、琵琶界各方面の御協賛を得て大会を開かれる。

プログラムの島田千三さんの「ことほぎ」を序演に第一部「戦口」を企画。構成、林田旭城、琵琶と絃を山本旭城、林田旭城、詩吟錦城会彦根支部会員、解説平尾城水尺八中西颯山、剣舞舞舞に小堀高



(三浦蓮水師)

西宮市文化祭を飾る 三浦蓮水師の琵琶詩舞大会

市民待望の邦芸競演の美展

錦心流琵琶西切つての人氣者と云はれ、支援者も多い、西宮の三浦蓮水師主催の恒例秋の西宮市民文化祭参加、第九回琵琶と詩吟舞大会は十一月一日十二時半より西宮市夙川公民館松下記念ホールに於て開催される門下生に依る詩吟、琵琶を序演に、青柳流詩舞家元一門の詩舞、琵琶舞と続き詩吟三十題、琵琶二十題、書道吟とバラエティに富んだ番組で盛況が期待される。

主な琵琶出演者と曲目は▲木村重成 ▲小山田賞水 ▲戦艦大和 ▲三浦蓮水 ▲後寛 ▲伊勢谷安江 ▲菊水

八月二十九日夜八時、NHK3テレビで「琵琶の再発見」の題で一時間に亘り放送があった。最初鶴田錦史さんの琵琶演奏の場面が映って、当日の主催者兼発言者の東京教育大教授西山松之助氏の主題についてのお話、続いて音楽評論

NHK3テレビで 「琵琶の再発見」を

家で武蔵野音楽大教授、日本琵琶楽協会副会長吉川英史氏より「最近の鶴田師の演奏によつて世界各人の琵琶への関心と認識が高まった」ことを語り、米国人ジョージ・ギンズニー氏の琵琶研究に言及し、平曲練習の実況を映す、丹羽正明氏(音楽評論家(洋楽))の武蔵野氏の琵琶演奏に対する関心等について感激の言葉が述べられた。吉川氏は琵琶楽器の由来と我が国へ伝来した時機、琵琶の種別等を語り、参考として左記四人の実演を紹介した。

- ①盲僧琵琶、福岡小川行舜氏(荒神びわ説経奏)
- ②平家琵琶、仙台館山甲午氏(曲は小督、五柱)
- ③筑前琵琶、東京笹川旭風さん(曲は小督、東京)
- ④薩摩琵琶、伊東平山万佐子さん(曲は川中島、四絃)

この実演のあと吉川氏より薩摩琵琶の弾き方についての説明があった。更に西山氏より主題の再発見のまともに就て意見を陳べられたが、何れも武蔵野氏の琵琶並に尺八といふ邦楽器に対する深刻な音色開発への研究に感激されたと共に鶴田さんの世界的な活躍と名声に敬意を示されたことである。

琵琶の再発見という点では何等まとまつた点は聞かれなかつた。ジョージ・ギンズニー氏の琵琶研究の点に三者感銘が深い様なお話であつたが、外人の琵琶習得は今に始まつた事ではなく大正年代に露西の婦人、また朝鮮人があり共に巧者で朝鮮京城の舞台で活躍されていた事を記憶している。

藤巻旭鴻会 演奏会記念



(写真説明)

九月四日伊勢丹ホールで催された藤巻旭鴻会は超満員の盛況であったが、写真は当日の記念で、(前列)向つて右より、藤巻旭星、藤巻旭陽、仲川秀邦、水藤錦輝、藤巻旭鴻、藤巻祐子、柳原電輝、柳原英子、黒田旭瑛、吉田玉園、吉田祥中(中列)吉田社中、大野旭翠、松元旭川、林田旭一洗、松岡旭照、長谷川旭苑、樋口旭清、大津旭紅、安倍旭静、古川旭冷、吉田旭泉、石高琴風(後列)藤巻旭鷹、水藤五郎、上原旭暎、橋上旭英、谷口旭節、南崎旭童、矢間昭江、熊手旭辰、石崎旭匠の諸氏

新作琵琶歌

松原龍山氏作詞

琵琶新曲 ああ白虎隊

文久二年春、津肥後守容保は、京都守護職として入京し、藩祖正之の遺訓をば、心に秘めて決然と、大義の道を進みゆく。天朝あれば幕府あり、幕府尊べば又天朝も重かるべし、慶応四年新政府、錦の御旗翻し、朝敵の名もとに鶴ヶ城下に奔々と、迫る官軍五万人、此の時飯沼貞吉に、今日的首途を祝わんと、母が与へし和歌一首

梓弓向う矢先はしげくとも
引きな返しそ武士の道
嗚呼時の流れは空しくも、昨日迄は勤王の志士達か、今日叛逆の汚名うけ、追討される定めとは、正

今年の入賞者

コンクール

日本琵琶楽協会主催の昭和四十五年琵琶楽コンクールは、九月二十七日東京銀座の交詢社ホールに於て催された。審査員は吉川英史氏外五名で行われ、出場者は小林章義、齋藤英子、中村亭水、佐藤源水、山本隆水、彼ノ矢洲友、宮崎洲香、山田洲鳳、石井桑水、押川旭葉、木下旭電、須田誠舟、福岡時雄、広瀬翠紅、山田幻水、柴野清水、加藤喜水の十七名で、昨年より少いがコンクール出場回数の方も多く、真剣勝負そのものの技術伯仲のコンクールと云えよう。入賞者は

一位須田誠舟(文部大臣賞、日本放送協会賞、協会長賞、賞状並に賞品)▲二位(二名)広瀬翠紅、宮崎洲香(賞状と賞品)▲三位(三名)山田洲鳳、押川旭葉、加藤喜水(賞状と賞品)

尙今年より一、二位入賞者のみの放送となった。入賞者は十二月五日午後一時十五分NHK第二より放送の予定

鈴木社長の災禍

鎌倉 曾我電城

災難は予期出来るものでなく注意して居ても襲うて来る。芸の友社長の交通事故！左大腿部骨折も注意に注意をしての災禍である。交通規則を正しく守つて居ながら、然も日中(午後四時)の出来事であると言つて如何に世の中が忙しく、危険千万だらけで生きている事が多いとは、馬鹿々々しいと言つて腹が立つ。

絃和記念大会は 大成功に終る

湘南随一の人気名手運子の平野鉦水師主宰する絃和会創立十周年記念大会は、去る十一日遅子市立図書館大講堂で開かれ、平野師積年の徳望が実つて大人気の盛況、会員並に來賓各位の熱技競演にも一段の力がこもり來聴者も感激させられた。当日各方面より祝贈物や御祝詞も寄せられ大会を飾つたが詳細は次号にて。

年賀の紙上交礼

昭和四十五年も余す所一ヶ月余となり四十六年新春が近づきました。今年も芸の友創刊二十周年の記念行事に御支援賜りました事、厚く御礼申し上げます。四十六年は更に前進貢献致す所存なれば一層の御後援をお願い申し上げます。例に依り一月一日発行の友新年号は、年賀交礼号として各位の御多幸と御健康を祝福する貴名掲載を取扱いたします。皆様の御参加をお願い申し上げます。貴名掲載料は一人一割金千円以上一万円迄取扱いいたします。お申込みは十一月二十五日限り

芸の友社

高松宮妃名誉総裁の台臨を仰ぎ

第三回全国吟剣詩舞道大会

十一月二十九日 九段 日本武道館

笹川良一会長の日本吟剣詩舞振興会では、第三回吟剣詩舞大会を既報の様に十一月二十九日(日曜日)九段の日本武道館(午前八時開演)にて盛大に挙行される。当日は名誉総裁高松宮妃殿下の御台



(笹川良一会長)



(笹川鎮江師)

臨を仰ぎ、昨年に続いて今年も、高松宮妃研究基金奉賛として行われる。従つて本会には衆、参両院議長、関係各大臣、衆参両院議員及び各界名士多数が参列される事になつて居る。

開会は午前九時より一組五十名に依る会吟コンクールに全国より六十団体参加、十二時より全国青少年吟詠決勝コンクールが行われる。午後一時より式典を挙行、二時半より吟詠と剣詩舞のまつり「大和し美わし」が開幕される。

京北協会秋の会

十一月十四日 豊島区民センター

思を、山本五十六は朝琴会佐々木孝吾氏外五名、山下奉文を縁村会大木国元外四名の吟で、また陸風会丸山隆胤氏は海ゆかば水漬く舞、ひめゆりの塔は静寂会十八名の舞、岳風流、一誠流各二名の吟で繰展げられる。笹川鎮江さんの海原には大空ののち、日本国風流雨宮国風氏外十六名の吟は、景山流、凱風流三十余名の舞で九段の桜を、晴園の宮に御魂はを、墨水吟詠会近藤英隆外各派各派の名士十九名で飾る。岳風会渡辺岳神氏のみ民われ生ける駿ありの後全員の大会吟「富士山」で絢爛たる競演の幕を閉じる予定。

この催しは芸能界行事としても最大のもので、一万数千を収容する会場は毎年超満員の盛会、今年も盛況が予想される。

京北琵琶協会では恒例の秋季演奏大会を、十一月十四日(土)午後五時三十分より、池袋東口豊島区民センター文化ホールに於て、総務戸谷曙水氏の司会で開催される。大塚吟詠会婦人部の吟、大沢吟吟の吟、屋島宗竹の舞で乗行、高橋勝豊の石重丸、琵琶の出演者と曲は

巖流島 重田玉袖▲小袖曾我、出口石水▲井伊大老 押谷若水▲川中島 橋本草水▲竜の口、輝錦舟▲大楠公 戸谷曙水▲大菩薩峠 千葉玉山、贊助として

板倉穰水氏華燭の典

村上典子嬢

録の木 輝錦耕▲吹雪の敵 輝司

他に日舞で若柳吉光妙が特出される



(村上典子嬢)

水氏の新郎新婦の紹介の御挨拶あつて、板倉氏関係会社社長の祝辞があり、琵琶界より鈴木六水氏、石井桑水氏の祝辞、国枝暎水さんの祝詞が花を添えた。新郎、新婦の友人数名各お祝の言葉、エピソード等披露やかな内に終了、最後に新郎、新婦よりそれぞれ御両親に感謝の花束贈呈があり、参列者一同感激させた。お二人は二十時羽田より四国方面へ新婚旅行に発された。

尚新居は、横浜市保土ヶ谷区今井町九〇〇ノ二。

時の人 須田誠舟氏

日本琵琶楽協会主催の四十五年琵琶楽コンクールに第一位を獲得し、薩摩琵琶界に気をはいた青年演奏家、須田誠舟氏は、現在中央大学法科の学生であるが、幼少の頃から吟詩を伊藤長四郎師について学び、後薩摩琵琶を辻清剛師について学び今日に至る。

故豊田旭穂師 十七回忌法要

故豊田旭穂師の十七回忌法要は笹川旭鳳さん、田中旭千栄さん等旭穂会員一同で、十月七日十二時より杉並区梅里一丁目四ノ五六四西方寺本堂に於て執り行われた。当日は水藤錦輝、若水桜松、仲川秀邦氏等会員の方の参列もあつて、三十名近く参集、故師の遺徳を偲び、御冥福を祈られた。

愛読者へお願い

本紙愛読者は会員制になつて居ります。会費は一ヶ月金千円であり、会費未納の方は滞りなくお早めにお申込み願います。

本紙名匠録登載は一ヶ月十回で金千五百円であり、(会費とは別)お申込みは前金を添えて願います。

年賀広告料及び暑中見舞広告料未納の方は早くお申込み願います。(会計係)

各派名流顔合せ 浅野晴風師大会

十一月七日一時
中野公会堂で



(浅野晴風師)

東京琵琶両道の大家で、高潔の人格者として有名な浅野晴風師の主催する、晴風会秋の大会は、十一月七日午後一時より中野区立公会堂に於て開催される。この大会は浅野師十数年來の年中最大行事で、芸術みよりの秋の総決算を行うもので、出演者は各流各派の代表約十名の外、晴風会総出演の最大陣容である。他派出演の主なものは、水藤錦穂、若水桜松、谷暉水、石田脩水、前田洲月、押川旭葉、鈴木密水の諸氏と、吟舞界の第一人者菊水流宗家永田吟詠師とその一門での競演こそ良い聴物であり視ものである。当日の主な出演者と曲目は

▲西郷隆盛 ▲青木晴城 ▲舟弁慶 ▲加藤錦陽 ▲道成寺 ▲大関英子 ▲瀧陽江 ▲中村松声 ▲修善寺物語 ▲杉山雅俊 ▲伊豆の御難 ▲若林晴凌 ▲光秀 ▲緒方晴舟 ▲物語ビワ安寿と厨子王 ▲浅野晴風 ▲河川島 ▲山崎典水 ▲大野律水 ▲茨木 ▲押川旭葉 ▲掛合勘進帳 ▲山下晴楓 ▲石田脩水 ▲小野訓導 ▲前田洲月 ▲壇の浦

水藤錦穂秋の演奏大会

一門の精鋭の外各派名流出演
十一月十三日十一時
日本橋 第一証券ホール



(水藤錦穂師)

邦楽界の天才琵琶家水藤錦穂師主催の恒例秋の演奏大会は、十一月十三日午前十一時より、日本橋三越本店前第一証券ホールにて開催される。今日大会には、一門の精鋭、五郎息子を始め、村木、新部、藤波、津谷、箕村、小島、林、別格として小沢、平野協賛として、浅野、望月、鈴木、邦楽界の天才琵琶家水藤錦穂師主催の恒例秋の演奏大会は、十一月十三日午前十一時より、日本橋三越本店前第一証券ホールにて開催される。今日大会には、一門の精鋭、五郎息子を始め、村木、新部、藤波、津谷、箕村、小島、林、別格として小沢、平野協賛として、浅野、望月、鈴木、舟 ▲青葉の笛 ▲富沢光次郎 ▲故郷の道 ▲関口真意子 ▲城山 ▲井坂義雄 ▲井伊大老 ▲村木松柳 ▲滝の口 ▲加藤錦陽 ▲静 ▲平野鉦水 ▲舞 ▲花柳照重 ▲修善寺物語 ▲桂 ▲津谷松佳 ▲現代小曲 ▲植輪 ▲櫻舟 ▲雪の幻想 ▲五郎 ▲陽江(上) ▲望月望江 ▲湖底の月 ▲水藤錦穂 ▲筆曲合奏イ金剛石 ▲六段の調 ▲林美和子 ▲詩吟 ▲大楠公 ▲戸室清山 ▲菊花 ▲三本真琴 ▲母 ▲藤本露風 ▲白虎 ▲藤波白林 ▲母ときわ ▲菊地 ▲城山 ▲大島貞次 ▲花の敦盛 ▲萩野松幸 ▲聖徳伝記板敷山 ▲小沢錦弥 ▲水藤五郎 ▲扇の的 ▲林豊 ▲耳なし芳一 ▲箕村松柳 ▲春猿 ▲歌 ▲小島櫻舟 ▲長谷川旭葉 ▲絃 ▲水藤五郎 ▲藤卷旭陽 ▲波桜華 ▲絃 ▲錦穂 ▲錦穂 ▲安達ケ原 ▲鈴木密水 ▲詩吟 ▲東京八景 ▲渡辺秋草 ▲桶狭間 ▲沢百華 ▲山中の月 ▲津谷松佳 ▲びわ舞 ▲新曲平泉 ▲立方永田吟詠一門、上の巻、古田耕水、輝

寺 ▲浅野晴風以上の外琵琶と詩吟多数が上演される。

日本琵琶協会 名流大会好人気

日本琵琶協会恒例の名流大会は、十月十五日十一時より日本橋三越本店劇場にて開催された。今回は協会として初の単独主催で協会らしい面目を保った。出演者は水藤五郎、長谷川旭葉、鈴木鶴岡、山田洲鳳、栗原雨竹、須田誠舟、藤卷旭陽、遠藤鶴東、押川旭葉、古家絃風、前田洲月、宮崎洲香、松崎洲隆、新部松水、友吉澄水、水藤錦穂、藤波桜華、吾妻江風、山元旭鈴、金子旭昭、城戸旭瀧、安田幸吉、竹下翠風、広瀬翠紅、弘沢雨水、池野谷吟詠、平井洲誠の諸氏の外琵琶舞に中村冠子、中村恵子、胡弓に木村雅趣雨の諸氏。

十周年を迎え 正統会記念大会

東京の薩摩琵琶正統会では今年で十周年を迎え、会員も増し演奏会員七十名を数えるに到り、益々発展しつつあるが、その記念大会が、鹿児島より安田幸吉岡好会会長、京都四明会より平井春嶺、小野鶴彦、伊吹正陽の諸氏を迎え、十月十八日銀座交詢社にて開催された。辻委員長開会の挨拶に始まり、有志による門徒合奏を序演に、田宮吉平、宮崎岳灯、村木錦陽、新納岳密、八束一峰、曾我竜城、伴野鶴風、佐々木精、柏木道、鈴木鶴岡、大塚岳峻、遠藤鶴東、吉成登城、田辺錦波、池野谷吟詠、須田誠舟、平井春嶺、仲川秀邦、栗原雨竹、辻晴剛、安田幸吉、前田秋声、田中旭嶺、小野鶴彦、伊吹正陽、岡部錦蝶、ジョー・ギンシユ、古家絃風、鈴木鶴彦、森鶴堂、関口竜城の諸氏熱演盛会であつた。

水藤錦穂演奏大会

十一月十三日(金) 午前十一時開演
午後八時半閉会
日本橋三越前 第一証券ホール

主催 水藤錦穂
後援 日本芸能顕彰会
後援 琵琶研精会
後援 錦びわ櫻会

錦心二名将を迎え 田中旭嶺秋大会

十一月一日十二時半
銀座交詢社ホール



(田中旭嶺師)



(前田秋声師)

毎年一回の大会毎に新曲を上演して名手の貫録を示す、東京田中旭嶺さんの秋の大会は、十一月一日(順不同) 五絃段 会員 ▲蓬萊山 ▲徳山喜美 ▲梅は匂いで ▲佐々木陸子 ▲鉢の木 ▲坂田旭暁 ▲小栗栖 ▲伊藤泉 ▲坂本竜馬 ▲水口旭暁 ▲扇の的 ▲河井旭生 ▲潮水渡 ▲佐々木旭鳳 ▲壇の浦 ▲須田旭綱 ▲山田長政 ▲峯旭孝 ▲羅生門 ▲吉田旭明 ▲安倍旭静 ▲衣川 ▲若林御洋 ▲恨の軍旗 ▲宮田旭寿 ▲新曲秋風五丈原 ▲田中旭嶺 ▲彰義隊 ▲須田誠 ▲俊寛 ▲吉成登城 ▲吹雪の敵 ▲輝錦司 ▲加茂の宵月 ▲厚畑湖 ▲原田旭柳 ▲田中旭千栄 ▲本能寺 ▲前田秋声 ▲西郷隆盛 ▲雨宮薫水 ▲吟詠 ▲片島茂吉 ▲芹沢百華 ▲佐々木陸子。

花房流吟詩舞家元 花方旭嶺師研究会

十一月八日十一時
目黒八芳園にて

筑前琵琶橋会師範花方旭嶺師は花房流吟詩舞家元として活躍して居られるが、十一月八日十一時より目黒八芳園に於て、筑前琵琶と花房流吟詩、詩舞の研究会を開催される。プログラムは詩吟の部に始まり、花方老師の白虎隊迄二十六題、続いて詩舞八題を上演、琵琶



(花方旭嶺師)

その他ゲストに芹沢、片島、佐々木、旭嶺会より原、原田、田中の諸氏が出演されると、一門には宮田、吉田、須田、若林、佐々木等花形名手も居り、その競演は好聴物であろう。当日の出演者と曲目は(順不同)

五絃段 会員 ▲蓬萊山 ▲徳山喜美 ▲梅は匂いで ▲佐々木陸子 ▲鉢の木 ▲坂田旭暁 ▲小栗栖 ▲伊藤泉 ▲坂本竜馬 ▲水口旭暁 ▲扇の的 ▲河井旭生 ▲潮水渡 ▲佐々木旭鳳 ▲壇の浦 ▲須田旭綱 ▲山田長政 ▲峯旭孝 ▲羅生門 ▲吉田旭明 ▲安倍旭静 ▲衣川 ▲若林御洋 ▲恨の軍旗 ▲宮田旭寿 ▲新曲秋風五丈原 ▲田中旭嶺 ▲彰義隊 ▲須田誠 ▲俊寛 ▲吉成登城 ▲吹雪の敵 ▲輝錦司 ▲加茂の宵月 ▲厚畑湖 ▲原田旭柳 ▲田中旭千栄 ▲本能寺 ▲前田秋声 ▲西郷隆盛 ▲雨宮薫水 ▲吟詠 ▲片島茂吉 ▲芹沢百華 ▲佐々木陸子。

馬瀬槍水師を偲ぶ会

吉田旭嶺、伊沢旭源、花方旭路、來馬瀬槍水師が去る三月逝去されて早くも六ヶ月余を経過し、今更の様に惜しまれて居るが、此度一水会大阪支部、神戸支部、京都支部の共催で、十月十日大阪府立婦人会館に於て、馬瀬槍水師を偲ぶ茶話会が開催された。この催しには馬瀬とみ子未亡人、馬瀬実夫、馬瀬仁子の御遺族も出席され、故馬瀬槍水師の「耳なし芳一」の録音で故入

鈴木社長入院 見舞客の御芳名

九月四日交通事故に依り富田病院へ入院加療中、親しく病院に見舞われた方の御芳名を記し、謝意を表します。(十月十五日迄)

敬略 安藤光晴、安藤光捷、須田旭綱、大阪山崎旭華、佐藤旭天紅、鶴善信次、鶴善愛子、原田旭鳳、花方旭嶺、花方旭路、前田秋声、赤津昭平、赤津喜登江、鶴田錦史、仲川秀邦、大館美江子、福沢立枝、金森錦司、鈴木豊雄、曾我竜城、藤卷旭陽、水藤錦穂

浅野晴風秋の大会

十一月七日(土)午後一時~八時
中野駅 中野区公会堂

助演 脩水、旭葉、洲月、密水
出演 桜松、吟、錦穂、暉水

¥ 300

御礼御挨拶

老生此度不慮の交通備に依り入院加療に際しては、早速御見舞に御礼申上り、御芳情誠に厚く御礼申上ります。症状の経過はよろしきも、老体の事とて全治迄に数ヶ月を要するとの診断であります。

この奇蹟の為、各地で催された秋の演奏大会は、全部欠礼致しました事悪からずお許し下さい。茲に御礼を兼ね近況御報告迄

鈴木 營士

錦襷師音公演に
十一月二十七日千代田区西神田
三ノ丸一〇労働会館ホールにて

詩吟学院岳風会
全国吟道大会

吟道界の偉大な先覚者故木村岳
風先生の遺業を継ぎ吟界に君臨す
る、日本詩吟学院岳風会では、第
五十九回全国吟道大会を、九月二
十七日十時より東京虎の門の国立
教育会館ホールにて盛大に開催
された。定刻着席、修礼、

芸の友二十年の
回顧を読んで

東京 吉成登城
▽回顧録刻明に盛られしそこかし
こ、身近かな懐(おも)い出舞
々(ひしひし)として、
▽着実に歩みし路の越し方を、
(まぶた)に偲ぶ(よすが)
ともかな。

秋田の琵琶演奏会

秋田琵琶連盟、一水会秋田支部
秋田芸術文化協会共催の琵琶各流
演奏会が九月十三日正午より県児
童会館ホールにて開かれ、鈴木明
水、水島伝、横濱、新瀉、酒田、鶴
岡、秋田各地名手の巧演が繰り展
げられ賑わった。出演の主な者は横
浜中谷義水、美水夫妻、秋田熱海
水、松井灯水、鈴木岳亮、酒田
辻有水、新瀉五十嵐雅水、鶴岡渡
会格水の諸氏と石島仙水、星野雄
水、渡辺順水、保坂遼水、斎藤頌
水、竹内信水氏等であった。

名古屋旭柳会演奏会

名古屋建築の元老橋本師範松本
旭柳師主催の旭柳会演奏会、中
秋の九月二十七日午後一時より、
名古屋中小企業福祉会館ホールに
於て催された。出演は一門の外資
助として、箕浦旭静、橋本宗範山
崎旭幸さん出演されて賑わった。

老梅 一輪

鹿兒島 久木田 稔

池田天舟先生のみたまに手向
くるうた
◎旅に病みついに蝦夷地に天つ舟
往きてかへらず絃の聖(ひちり)
◎かくばかり帰郷の心つたへます
交沢なりしを空しきみ骨
◎琵琶道の為としあらば身も魂も
財も惜まず極げきませり
◎君ならで誰か成し得ん薩摩琵琶
今昔談義一絃に生きては
◎四の緒に情熱かけて六十年
人間文化財と崇められけり
◎天舟や郷土芸能史上
貴きいさを立立てませり
◎今は早や白霜川在幽玄の
琵琶音を聞くによしなし
◎ただ残る梅の古木に一輪の
花とかをりし君が弾吟

東京橋会温習会

筑前琵琶東京橋会では第五回温
習会を、九月二十六日正午より、
世田谷区代田の山元旭錦宗範邸に
て開かれ、会員各研究曲を演奏し
研修された。尚当日参会された方
有志よりの見舞金を、山元旭錦師
吉益旭師が代表され、鈴木蒼士
氏を病院に見舞われた。

清吟会一泊旅行

錦心流錦堂派一門の清吟会では
十月十八日伊豆高原山温泉郷岩
田株式会社別荘に於て、温泉に入
り、琵琶を弾じて一夕を楽しもう
温泉一泊の親睦例会を催した。

琵琶詩吟名匠録

筑前琵琶、詩吟教授
橋本宗範 山元旭錦

- 155 東京世田谷区代田山元旭錦
筑前琵琶 旭柳
154 東京都世田谷区梅丘三ノ丸
旭柳会 大坪旭邦
153 東京都世田谷区東大塚二ノ丸
旭柳会 松本旭柳
461 名古屋市中区東大塚二ノ丸
錦琵琶本部 宗家 水藤 錦襷
171 東京都豊島区高松三ノ丸
師範 藤巻 旭鴻
160 東京都新宿区三栄町一ノ丸
筑前琵琶 押田 旭効
166 東京都新宿区木下四ノ丸
旭柳会 田中 旭嶺
112 東京都文京区千石三ノ丸
詩吟 静風流 鳳凰会
旭風 笹川 鎮江

筑前琵琶橋会師範

大和流 板谷 旭邑

- 730 広島市橋本町一〇三九一五号
筑前琵琶橋会事務局
常務理事 堀田 旭甲
444 岡崎市福寿町七七
事務局長 堀田 旭甲
筑前琵琶橋会師範
師範 久徳 旭蘭
680 鳥取市片原四ノ二七
筑前琵琶橋会師範
師範 林田 旭華
522 彦根市中中央町六ノ二
筑前琵琶橋会師範
師範 田中 旭昇
653 神戸市長田区梅ヶ香町一ノ二
筑前琵琶橋会師範
師範 大津 旭紅
167 東京都杉並区南荻窪二ノ三
筑前琵琶橋会師範
師範 鈴木 旭美
155 東京都世田谷区代田一ノ二
大教司 鈴木 旭美

筑前琵琶橋会師範

佐伯 旭瑛

- 577 東京都世田谷区代田一ノ二
筑前琵琶橋会師範
師範 佐伯 旭瑛
141 東京都品川区平塚二ノ八
花房会 花方 旭嶺
158 東京都世田谷区東大塚二ノ三
師範 安藤 光鵬
802 北九州市小倉区米町四丁目
師範 小野 旭枝
804 北九州市戸畑区千防一ノ五
師範 江本 旭清
535 大阪市旭区赤川町四ノ六
大楽和流琵琶吟教授
師範 三木 光照
464 名古屋市千種区徳川町二ノ七
筑前琵琶橋会師範
師範 石河 旭桜
272-01 千葉県浦安町橋本二四四
千原原清安師範
師範 木下 旭竜
187 東京都小平市仲町一ノ九
翠琵琶本部 翠 紅
166 東京都杉並区下高井戸
宗家 竹下 翠風

琵琶、詩吟、風稷会

須田 旭綱

- 150 東京都世田谷区豊谷一ノ五二
琵琶、詩吟、風稷会
師範 須田 旭綱
657 神戸市灘区上河原通二ノ二
師範 佐野 旭晴
031 八戸市内丸十一
空城流吟舞詩吟斗南会
師範 村上 空城
010 秋田市保戸野金砂町四番大
宗家 村上 空城
薩調四絃玉山会
師範 千葉 玉山
171 東京都豊島区長崎三ノ三
プレス加工 西山工業所
師範 西山 耕治
176 東京都練馬区旭町二ノ四
錦流琵琶 錦流 鳳凰
414 伊東市湯川一ノ二四ノ六
宗家 入谷 錦鳳
113 東京都文京区根津二丁目一五
師範 都 錦
166 東京都杉並区高円寺三ノ三
師範 中村 洲心
253 神奈川県茅ヶ崎市香川三ノ三
大教司 藤巻 旭陽

精密部品加工業 (腕時計部品)
ネクタイ整形具(タイフレンド)製造販売
平井精密工業 株式会社
本社 所沢市日吉町17-13 電話 0429 (22) 3175
工場 所沢市荒橋 218 電話 0429 (22) 3660
社長 平井 円吉(洲誠)

洋服のお誂えは
テーラー 加藤
加藤 錦陽
東京三鷹市井の頭3ノ19ノ6
電話 (0422) (43) 7965

お酒と新鮮魚
大衆的実質酒場
荒井屋
友吉 澄水
東京浅草雷門横
電話(84)四二五一番

染料・染色助剤・化学工業薬品
合成接着剤・界面活性剤・製造卸商
株式会社 戸谷染料商店
社長 戸谷 曙水
本社 東京都台東区下谷2丁目8の9
(873) 3111, 3112, 3113, 3114, 3115
工場 東京都葛飾区草加市吉町1丁目5の21番地
電話 草加 0489 ② 4955 番

全国学校・病院・工場給食
即席 ロークス
「カレー、ハヤシ、ホワイト」
給食物資製造販売
株式会社 ロークス本舗 取締役会長 稲葉新一(葵水)
取締役社長 稲葉 卓夫
本社 名古屋市中区西町2の7
本営業所 名古屋市中区東通1の2
電話 代表 (882) 6631
【厚生省許可特種栄養食品】

最古の伝統と最高の技術
薩摩琵琶 専門製作
附属品一式
石田琵琶店
創業明治十一年
電話 芝居 六五五 四八八 八八九
西久保巴町電停横大通り